

反彈圧斗争

No.489

6.24

発行

東建・東二配水・東二三支部
合同 反彈圧斗争委員会

X day が近づいている

この梅雨が明けると今年も「

年間平均一日配水量は、だいた
い460〜470万^m程度である。

誰からも文句がつけられない
ような暑いある日を選んで、水

XデーLがやってくる。Xデー

と、一年で最大配水量を記録

運用センターの密室から全都の

する日のことをいう。

水の唯一の理由として、安定給

ポンプ所と浄水場へ、一斉に水

配水量というのは、水道局が

伴う財政難を挙げている。その

圧を強めるよう指令が出る。そ

供給のために吐き出した水の量

場合、どこまで施設能力を高め

うして極限まで凝縮させて送り

であり、一日あたり最低なのは

るか、一日最大配水量Lが目

出す量が「一日最大配水量Lと

例年正月三日で370万^mくらい。

安となる。つまり、夏場のほん

なる。決して都民がその日に

最高は当然暑い盛りで、56年な

の何日か、都民が一番多く水を

使った水量の総和ではないのだ。

ら7月17日の、590万^mだった。

使う日でも供給可能とする為に、

当局はこの数値をもとに、拡

現行施設能力は 608万^m

予測

年度	一日最大配水量	月/日
53	624	7/25
54	574	6/23
55	561	7/22
56	590	7/17
57	568	8/4

60	647
65	689

従って拡張が必要

莫大な金をつぎこんで建設拡張

張だ！だから値上げだ！と大き

計画が組まれているのである。

ヤンペーンを繰り広げるのであ

ある晴れた日に――

る。「Xデー」決行の日は近い。

目次

「反弾圧闘争」上梓に想う 3

発刊にあたって

— 5・2、7・13集中弾圧攻撃に屈せず、教師なき反弾圧闘争を闘い抜いて 6

第一期「反弾圧闘争」ニュース No.1 ~ No.161

一九八〇年五月六日 ~ 一九八一年二月二十七日 9

怒りの5月2日を反弾圧闘争の突破口に (No.1)

大弾圧攻撃は、やはり業務手当カットの前ぶれであった!! (No.15)

雪谷の検針労働者に依願退職を強要する監察—江口を徹底糾弾せよ、 (No.59)

スト権30%批准せよ (No.93)

そ—おなんですよ中島さん/直者処分はデキレース。やる前から決っていた? (No.151)

第二期「反弾圧闘争」ニュース No.162 ~ No.340

一九八一年七月十四日 ~ 一九八二年四月二十二日 187

7・13処分粉碎 反弾圧闘争を組織一丸となって闘い、10億反合闘争のろしとしてすべての職場から闘争体制を確立せよ、 (No.162)

原水禁大会に参加して 被爆36周年広島大会参加記 その一 (No.182)

問題爺がひきおこした職場内暴力 (No.219)

弾圧に屈せず、団結の終わりになき発展をかちとろう (No.278)

シリーズ85年とは何か その2 高令者追い出しの『退職管理制度』再編 (No.307)

第三期「反弾圧闘争」ニュース No.341 ~ No.353

一九八二年七月六日 ~ 一九八二年七月三十日 379

風呂に入っちゃいかん えー/ 何でエーそんなイキナリ (No.341)

過ぎたるは……何とか。やぶをつついて蛇を出す (No.352)

第四期「反弹圧闘争」ニュース No.354～No.406

一九八二年十月二十日～一九八三年一月二十一日 393

10・19 検針労働者24名に、減給・停職の大量処分 (No.354)

我々、公務員労働者をなめ切った人勸凍結 (No.366)

これぞ毒まんじゅう (No.394)

第五期「反弹圧闘争」ニュース No.407～No.500

一九八三年三月二日～一九八三年七月十一日 47

芝浦つぶしの裏表 (No.408)

アウト・セーフは時の運 (No.420)

すべては退職未補充から始まった (No.421)

当局弁護士のハタ迷惑 (No.433)

検針の廃職＝全面委託攻撃を粉碎せよ (No.458)

キック・オフ!! (No.474)

Xデーが近づいている (No.489)

資料 547

東二職制の異動

5・2処分 一覽

7・13処分 一覽

年 表

編集後記 558

反弹圧闘争

定価2000円

1983年8月10日 初版第1刷発行

*

編集*全水道 東水労・東建支部・東二配水支部・東二支部合同反弹圧闘争委員会

装幀*貝原 浩

発行者*全水道 東水労・東建支部・東二配水支部・東二支部

東京都荒川区南千住6-40-1

印刷*松沢印刷(株)+(株)K&S

製本*越後堂製本(株)